

17. 家族について

本人以外何人と同居しているか。(問 9.)

「3人」が最も多かった。(表 14)

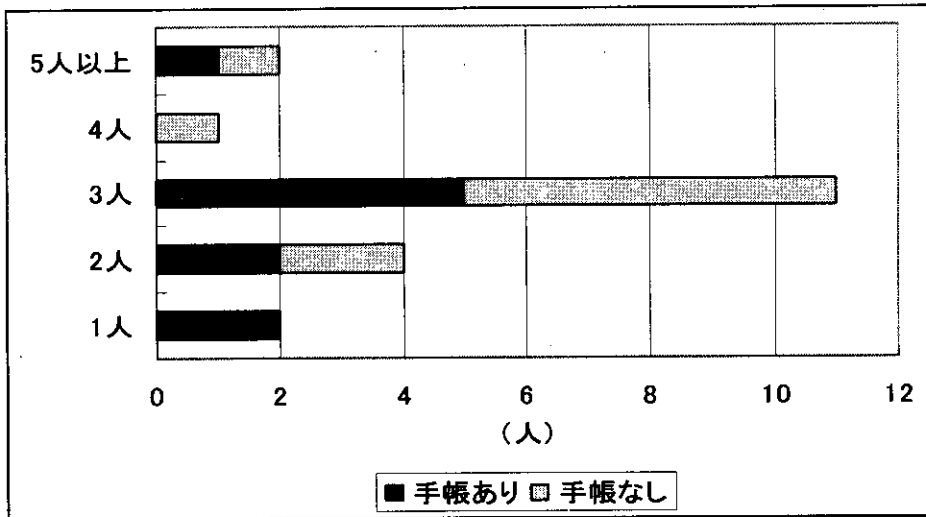


表 14

18. 同居している人の続柄 (問 9.)

両親と同居している人が最も多かった。(表 15)

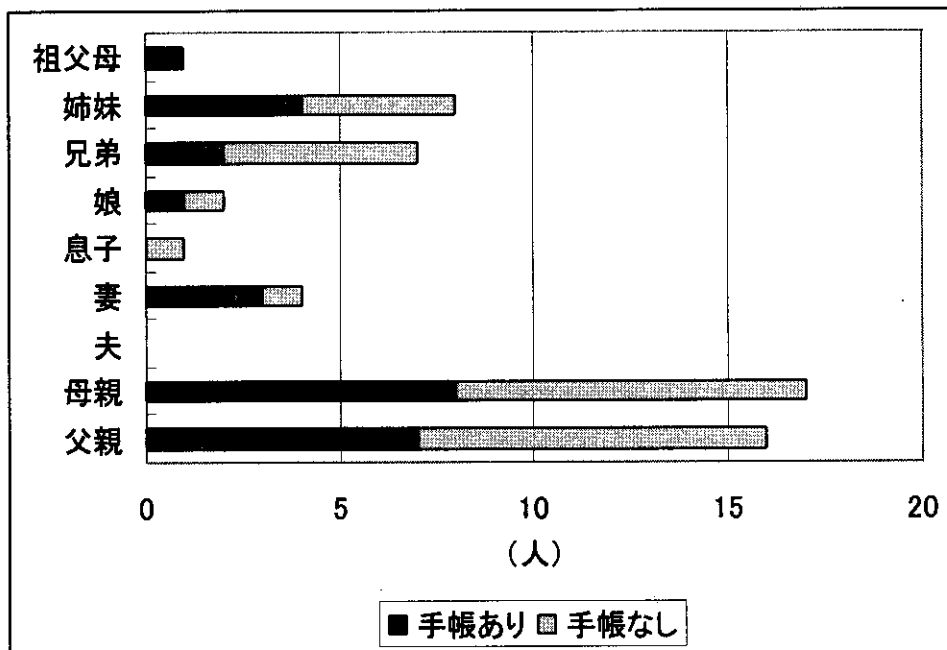


表 15

19. 同居家族の平均年齢

手帳を所持していない対象者の両親の平均年齢が、手帳を所持している対象者のそれより若干低くなっている。これは、手帳を所持している対象者とそうでない対象者の年齢比較に比例している。(表16) (2.参照)

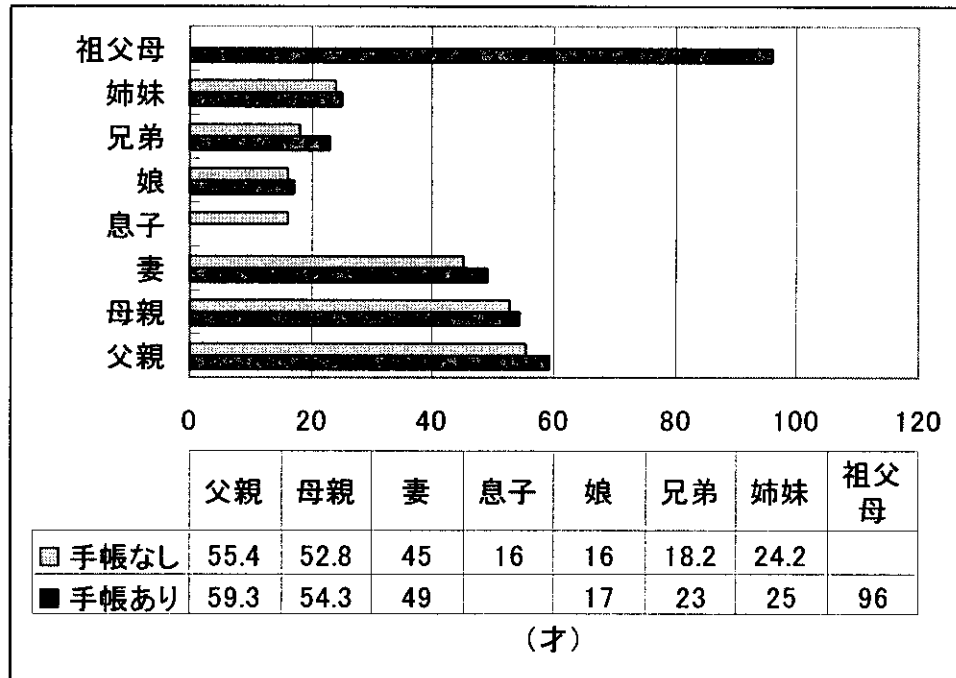


表16

20. 同居家族の就労状況

父親は、全体の92.8%が就労している。母親全体の就労率は、46.5%であった。

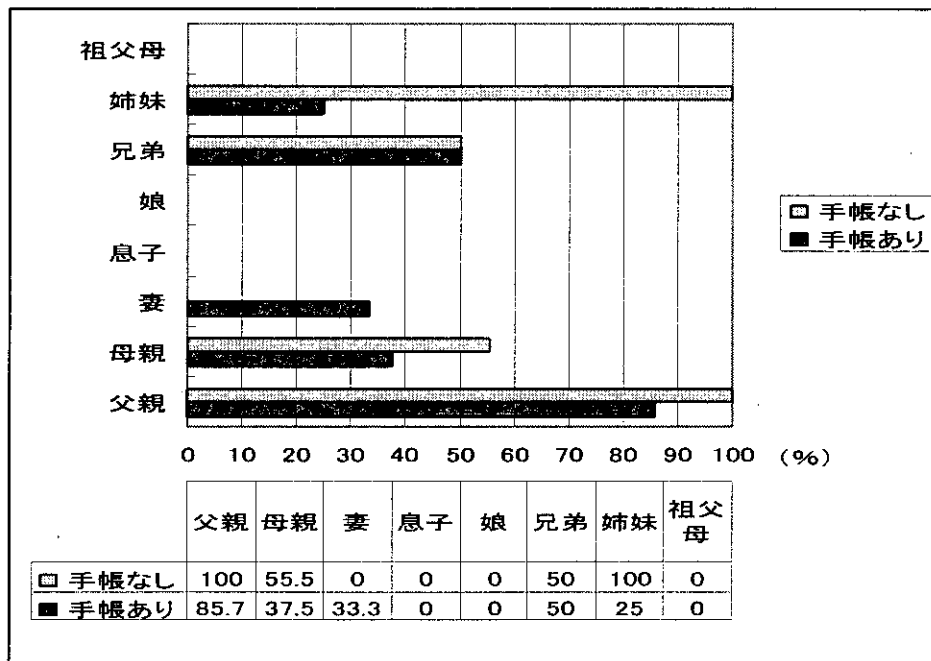


表17

21. どのような年金を受給しているか。(複数回答)

障害基礎年金 3名、障害厚生年金 2名、労災 1名であった。半数以上の13名が「何も受けていない」と回答した。(表 18)

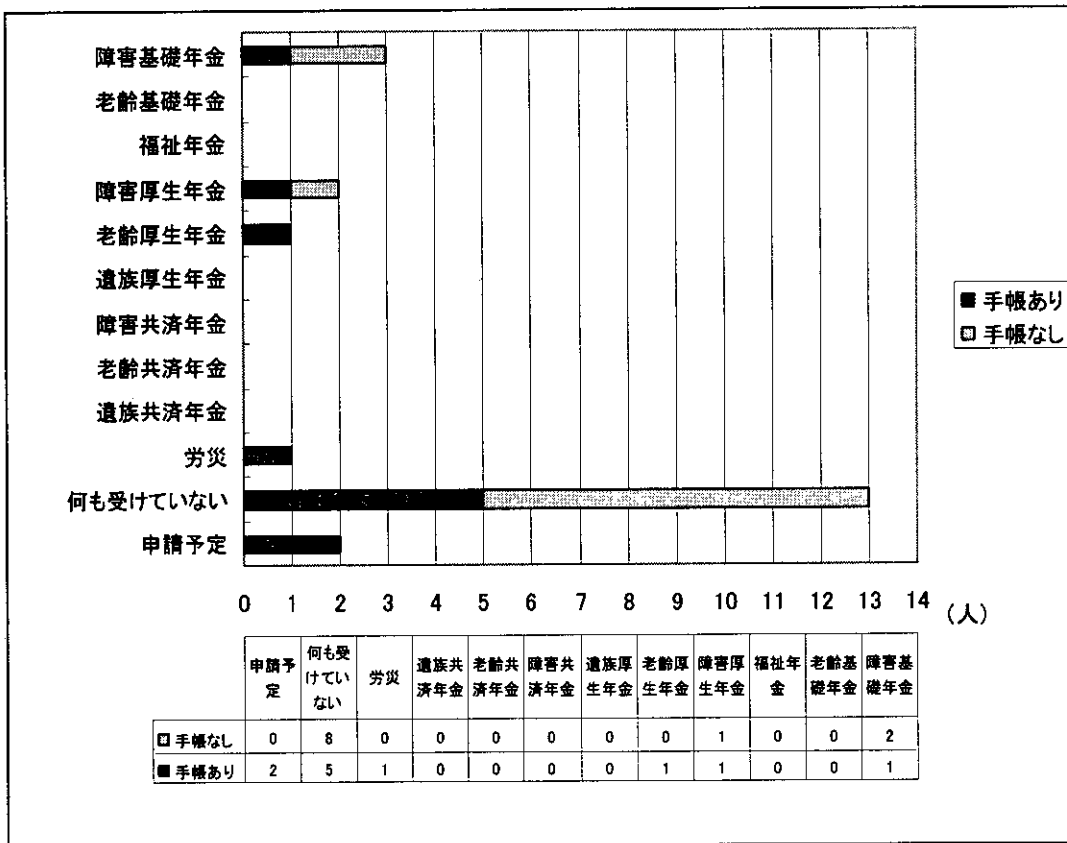


表 18

22. 本人の年間の税込み収入

全体の70%にあたる14名が49万円以下であった。(表 19)

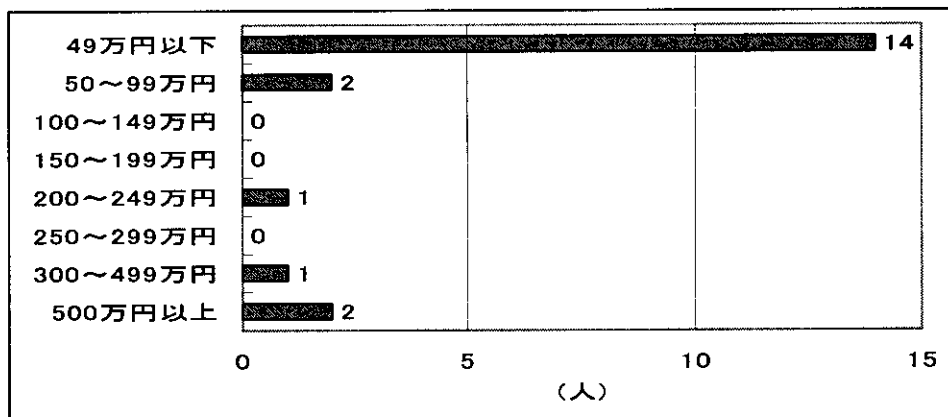


表 19

23. 収入の内容

年金 3 名、就労所得 3 名、アルバイト 5 名、作業所 4 名であった。5 名が「なし」と回答している。(表 20)

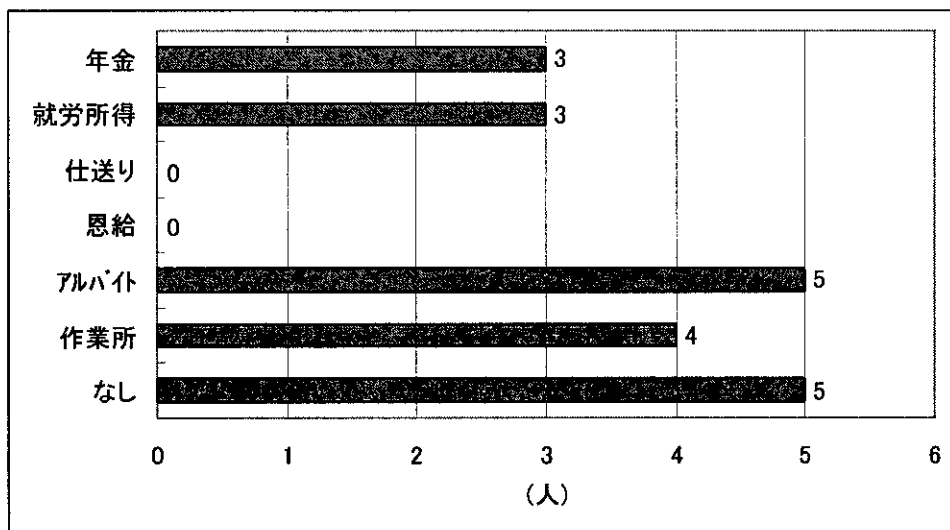


表 20

24. 本人の世帯の収入 (問 15.)

回答のあった手帳を所持していない対象者の世帯の約 33%が、年収 1000 万円以上であった。(表 21)

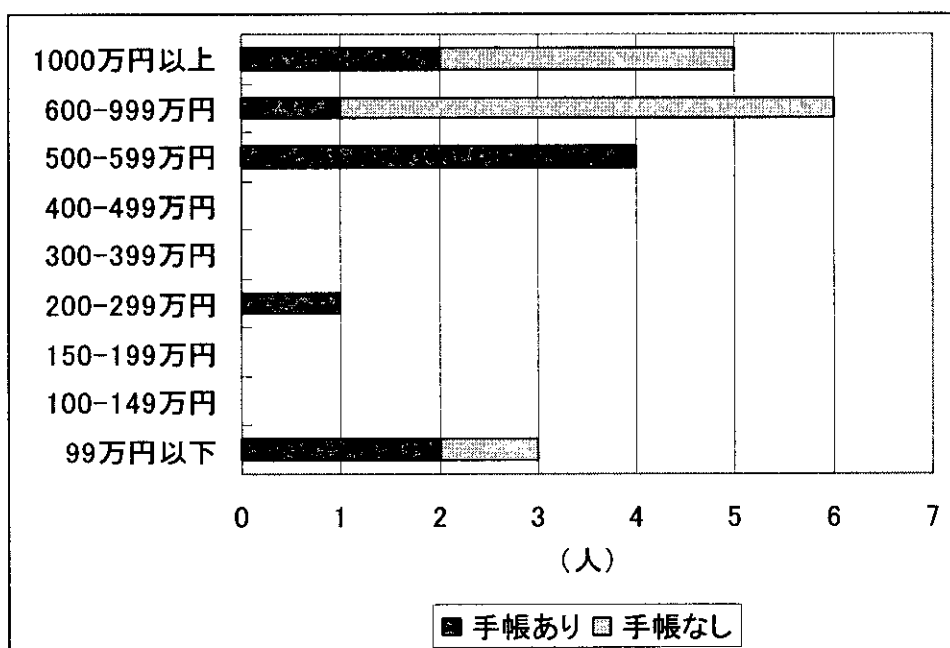


表 21

25. 本人と家族が心を打ち明けて相談する人は誰か。(問 17.)
 配偶者や両親という回答が全体の約 4 割であった。(表 22)

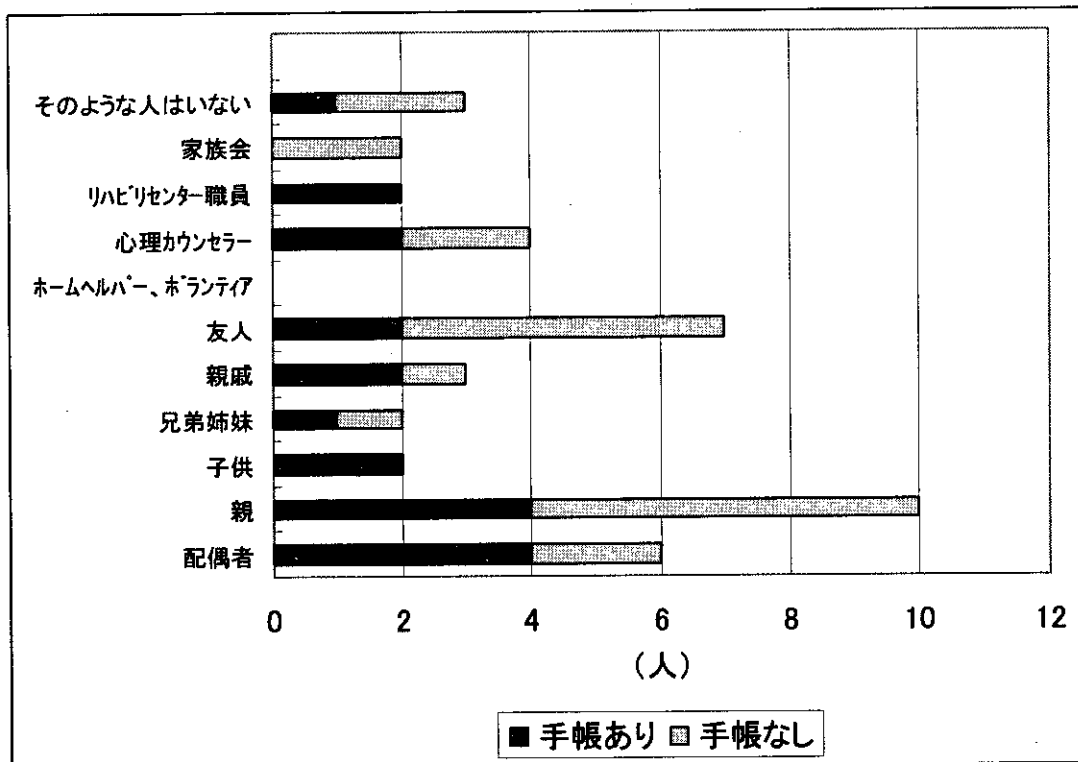


表 22

26. 相談機関を利用したことがあるか (問 18.)
 あると答えた人は、全体の 7 割であった。(表 23)

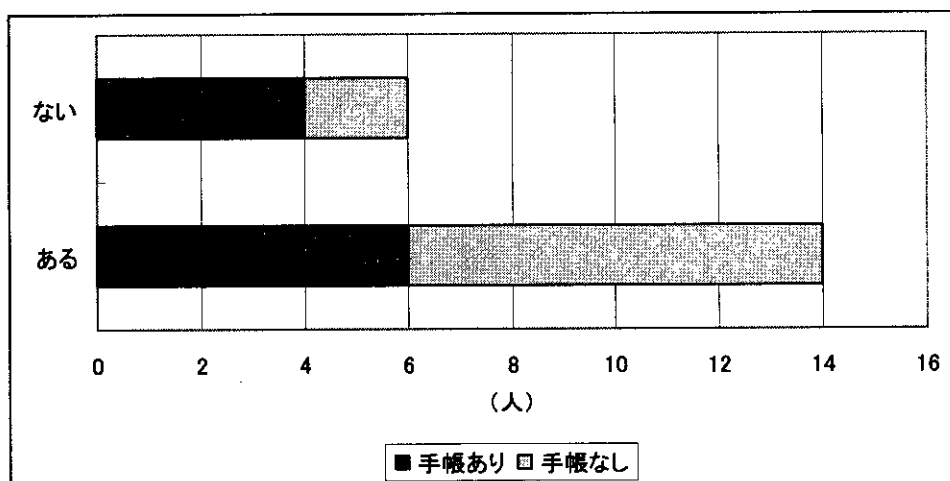


表 23

27. 相談先（複数回答）（問 18.SQ1.）

通所、または入所先の施設という答えが多かった。（表 24）

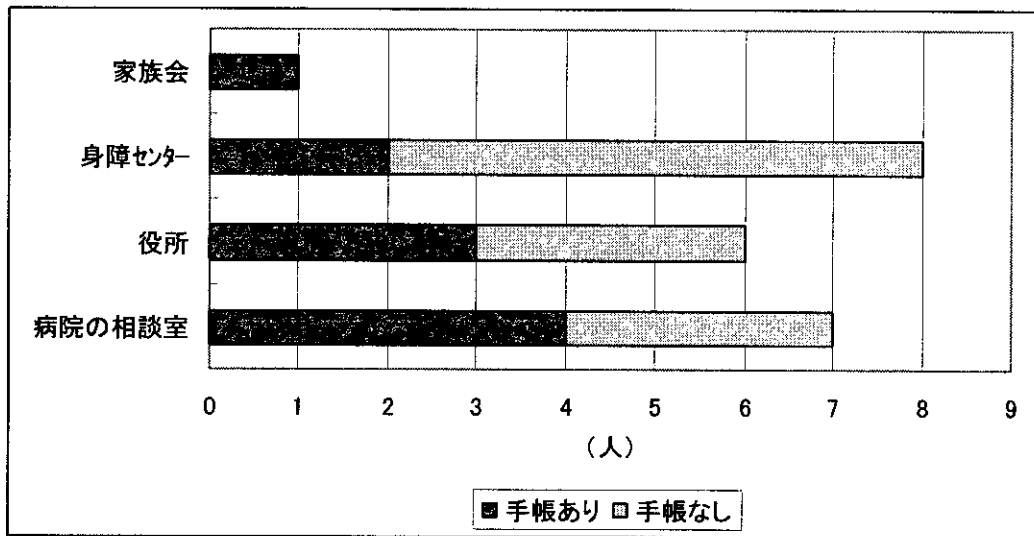


表 24

28. 利用している福祉サービスはどのようなものか（複数回答）（問 19.）

「何も利用していない」と答えた人が、全体の 65%であった。（表 25）

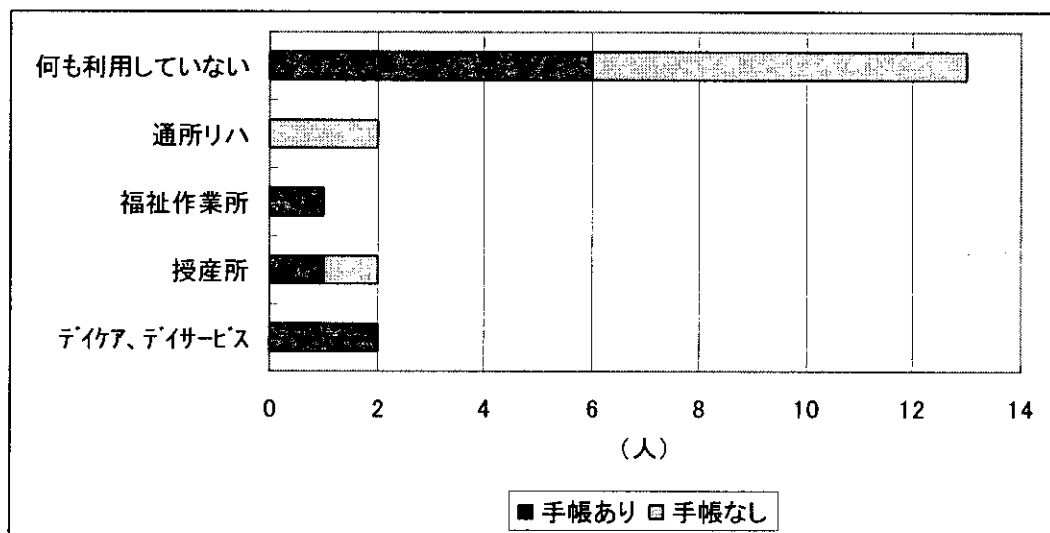


表 25

29. 現在、本人及び家族が日常生活上困っていること（自由回答）

「介」＝介護者 「本」＝本人 「計」＝合計

SQ.	障害の状態像	介	本	計
1				
	・環境が変わると本人が混乱するので、家族の負担が大きくなる	3	0	3
	・物忘れのため生活に支障をきたす	6	3	9
	・思い込みをする	1	0	1
	・自分の世界に入り込む	1	1	2
	・複雑な会話が理解しにくくなった	2	1	3
	・言葉がはっきりしないので話が通じない	1	1	2
	・一人で外出ができない	0	1	1
	・盲学校在学中の問題	0	1	1
	・徘徊	1	0	1
	・社会性がまったくない	1	0	1
	・文字が読めない、書けない	1	1	2
	・子供に関心がない	1	0	1
	・本人が情報収集することをしない	2	0	2
	・本人にトラブルの自覚がない	1	0	1
	・アルバイト先で作業がうまくいかない	0	2	2
	・妙になれなれしい	1	0	1
	・プライドが高い	1	0	1
	・感動できなくなった	1	0	1
	・潔癖症になった	1	0	1
	・感情の起伏が激しくなった	1	0	1
	・恥ずかしさを知らない	2	0	2
	・計算はできるのに実際の生活がうまくいかない	1	0	1
	・計算ができなくなった	1	1	2
	・異性に注意したり、スーカー的な行為を警察から注意されたこともある	1	0	1
	・同窓生の顔を思い出せない	0	1	1
	・将来が制限されている	0	1	1
	・兄弟に迷惑をかけたくない	0	1	1
	・新しい記憶ができない	2	0	2
SQ.	介護者の負担			
2				
	・介護者が健康を損ねた時のことを考えると不安	7	2	9
	・自分の時間がなくなった	2	0	2
	・一人では何もできないのでいつも見守りが必要	6	2	8
	・本人の代わりに考えて指示しなくてはならない	4	2	6

	・介護者の高齢化	5	2	7
	・金銭の負担大	2	0	2
	・付き添いが必要なので、新年会などにいけなくなった	0	1	1
	・将来のことを考えると不安	3	0	3
	・社会に出たときに不安である	1	0	1
	・両親がいて、今後の介護費が心配	1	0	1
	・トラブルの処理が大変	1	0	1
	・毎日反省するが、同じことを繰り返す	1	0	1
	・融通の利く職場にいる	1	0	1
SQ. 3	制度活用			
	・脳外傷患者が優遇される制度はないか	1	0	1
	・ショートステイを低料金にしてほしい	1	0	1
	・ヘルパー派遣では対応が不完全なので、ショートステイ、ロングステイが必要	1	0	1
	・学校や病院の送迎をしてくれる人が必要	1	0	1
	・福祉バスをもっと活用したい	1	0	1
	・サポートしてくれる人、施設がほしい	2	0	2
	・カウンセリングをしてほしい	1	0	1
	・学校へ行くための経済的サポートがほしい	0	1	1
	・就労支援をしてほしい	0	1	1
	・障害者手帳がほしい	0	1	1
	・ヘルパーは必要ない	1	0	1
	・デイサービス・ショートステイには抵抗がある	2	0	2
	・一緒に遊びに同行してくれる人がほしい	1	0	1
	・移動介助者を利用したい	1	0	1
SQ. 4	社会の理解			
	・社会に分かってもらいたい	3	2	5
	・障害の名前は知られていても内容は知られていない	0	1	1
	・就職のとき企業から断られる	0	1	1
	・電車で乗り降りが遅いと文句を言われたことがある	0	1	1
	・飛行機のチェックで胸の金属アラームがなるのを説明してするのに時間がかかった	1	0	1
	・話が遅いから、待っているとされる	1	0	1
	・タクシーの運転手が身体障害割引を提示すると、不快な態度を取る	1	0	1
	・人との間で生きていきたい	0	1	1
	・同じことを繰り返しして話すと嫌がられる	1	0	1
	・アルバイト先でからかわれる、意地悪をされる	0	1	1
	・障害者用トイレに同行するとき奇異な目で見られる	1	0	1
	・近所に去年から言えるようになった	1	0	1

	・近所の人には言っていない	0	1	1
	・外に出る機会が少ない	0	1	1
SQ. 5	資源の整備			
	・集団で集まって話す場所	0	1	1
	・障害者が利用できる施設がない	2	2	4
	・駅の階段がとても大変	1	1	2
	・信号が変わるのが早すぎる	1	0	1
	・階段で押されると危険	2	1	3
	・階段の手すりが中央にない	1	0	1
	・洋式トイレ,身障者用トイレを増やしてほしい	1	1	2
	・エレベーターへの最短距離がわからない	0	1	1
	・エレベーターの数が少ない	0	1	1
SQ. 6	家計			
	・年金をもらえる道を作ってほしい	3	1	4
	・本人を介護するため働けず、貯蓄ができず不安	0	1	1
	・発症後収入が減少し,ローンの支払いの予定が立たない	1	0	1
	・ゲームセンターで使い込んでしまう	1	0	1
	・発症後、年金の手続きをしたが月3万では、不足で妻がパートを掛け持っている	0	1	1
	・普通に食べていけるラインにたちたい	0	1	1
	・手帳を取得して年金を受けたい	1	0	1
	・就職して自立した生活ができるくらいの収入がほしい	1	0	1
	・本人のみの収入では成り立たない	1	1	2
SQ. 7	人間関係			
	・子供が泣いたりするとパニックになる	1	0	1
	・長男から同居の提案はあるが、うまくいか不安	1	0	1
	・常に妻が同行することで、本人のプライドが傷ついている	1	0	1
	・子供たちが本人を避け,まったく会話がなくなってしまった	1	0	1
	・親族も友人も離れてしまい,理解されない	1	4	5
	・家族にあたる	2	0	2
	・家族が気を使っている	2	0	2
	・友人を新しく作れない	0	4	4
	・徐々に友人が減った	1	0	1
	・本人にかかりきりになると兄弟に不満がでる	1	0	1
	・兄弟との関係が悪くなった	1	2	3
	・本人の勘違いや記憶のあいまいさから、喧嘩になる	1	1	2
	・学校になじめない,登校拒否	1	0	1

SQ. 8	職業			
	・親亡き後の労働支援をしてほしい	0	1	1
	・働きたいが、仕事がない	2	6	8
	・すぐにかつとなるので仕事が続かない	1	0	1
	・目に見える障害がないのに職につけないことがつらい	2	1	3
	・単純な作業ならできるので、理解してもらってはたたく場を提供してほしい	1	0	1
	・作業が遅い	0	1	1
	・理解のある人のところで、低賃金でもいいから働きたい	1	2	3
	・タイムカードを押し忘れてしまう	1	0	1
	・飲み込みが遅い	1	0	1
	・一度就職したが、うまくいかず、本人も混乱した	1	0	1
	・本人は問題ないというが、実際は隔離されている	1	0	1
	・仕事先でコーチをしてくれる人がいるとよい	2	0	2
	・ジョブコーチについて知らなかった	1	0	1
	・給料が下がるので障害者でなくやっていきたい	0	1	1
	・面接のときに緊張してうまく話せない	1	0	1
	・仕事復帰させたい	1	0	1
	・盲学校卒業後の将来が心配	0	1	1
SQ. 9	住居			
	・トイレに時間がかかるので、家族のためにも2つあるとよい	0	1	1
	・二階にあがれない	0	1	1
SQ. 10	生きがい、たのしみ			
	・ボランティアをしたい	0	1	1
	・趣味ができない(外食したい)	0	1	1
	・友達と同じ趣味で遊びたい	0	1	1
	・運動ができなくなった	2	4	6
	・仕事を見つけない	0	2	2
	・異性の友達がほしい	0	1	1
	・ペットがいてよかった	0	1	1
	・自分が役に立っていると思えるようなことをさせてあげたい	1	0	1
	・やってみたいことはあるが、まだ実現していない	0	2	2
	・ない	1	4	5
SQ. 11	医療、服薬			
	・指示しないと飲めない	0	1	1
	・針灸を受けるようになって、身体が楽になった	0	1	1
	・副作用があった	0	1	1
	・医師からの日常生活面でのアドバイスがよかった	1	0	1

	・生命だけ助けても、後のケアがないならば意味がない	0	1	1
SQ .12	社会参加			
	・どこも出られる場がないため、ふれあいの場がない	2	2	4
	・障害者としての手助けよりも、一般枠の中でやっていきたい	0	1	1
	・病院以外に通所先がない、介助なしには外出できない	2	1	3
	・仕事がしたい	0	1	1
	・交流の場がほしい	0	1	1
	・本人なりに好きな場には出て行っている	1	0	1
	・本人のニーズを満足させるところを見つけてあげたい	1	0	1
	・他人との交流を持たせたい	2	3	5
SQ .13	集団スポーツ、レクリエーション			
	・走ることができなくなった	1	0	1
	・楽しみを見つけたい	0	1	1
	・イベントがほしい	0	1	1
	・週に一度プールに行ったり、時には登山に行くこともある。	1	0	1
SQ .14	福祉機器			
	・若い人向けのデザインの靴がほしい	0	1	1
	・重いものを持ち上げてくれる機械	0	1	1
	・テープレコーダーなど、記憶を補助するものはないか	1	0	1
	・記憶を高める機器はないか	1	0	1
	・装具の作り直しに時間がかかる	1	0	1
	・装具が人肌くらいに温かいものはないか	1	0	1
SQ .15	その他			
	・今の記憶状態で将来生活できるのか	0	1	1
	・2級をとってしまおうと働けないのではないかと	0	1	1
	・移動介助が大変	0	1	1
	・異性に対する興味が過剰な点が不安	1	0	1
	・興奮しやすい点が心配	1	0	1
	・借り入れなどをして、金銭管理が心配	1	0	1
	・行動のコントロールができないことが不安	1	0	1
	・社会的なつながりがないと親も不安	1	0	1
	・本人のプライドと現実のギャップ	1	0	1
	・自分の障害を理解していない	1	0	1
	・手帳の有無にかかわらず、制度が利用できるようにしてほしい	1	0	1
	・目に見えない障害が理解されない	1	0	1
	・精神面の安定が図れればよい	1	0	1
	・親亡き後が心配	2	1	3

・親亡き後、施設に入れるか。作業所があるか心配	2	0	2
・適切な施設がない	1	0	1
・高次脳機能障害についての相談窓口があればよい	0	1	1

4名以上の回答を得た内容と回答者の手帳所持の状況

項目	手帳有			手帳無		
	介	本	計	介	本	計
・物忘れのため生活に支障をきたす	4	1	5	2	2	4
・介護者が健康を損ねた時のことを考えると不安	3	1	4	4	1	5
・一人では何もできないのでいつも見守りが必要	4	1	5	2	1	3
・本人の代わりに考えて指示しなくてはならない	3	1	4	1	1	2
・介護者の高齢化	2	2	4	3	0	3
・社会に分かってもらいたい	2	2	4	1	2	3
・障害者が利用できる施設がない	1	0	1	4	2	6
・年金をもらえる道を作ってほしい	1	2	3	1	0	1
・親族も友人も離れてしまい、理解されない	0	1	1	1	3	4
・友人を新しく作れない	0	1	1	0	3	3
・働きたいが、仕事がない	1	3	4	1	3	4
・運動ができなくなった	2	1	3	0	3	3
・(生きがい、楽しみが)ない	0	2	2	1	2	3
・どこも出られる場がないため、ふれあいの場がない	1	0	1	1	2	3
・他人との交流を持たせたい	1	1	2	1	2	3

3. 考察

本調査の目的の1つであった身体障害者手帳取得の有無による高次脳機能障害者および家族の生活実態の違いについては、外出の頻度と方法に関して、手帳を所持している人は、介助者を伴って移動する割合が高いのに対し、手帳を所持していない人は、一人で外出する割合が高いという違いはあったものの、それ以外の項目では違いは必ずしも明確にはならなかった。この原因としては、対象者の半数以上の13名が、10～20代だったことが影響していると考えられる。すなわち、本人及び保護者の年齢が若いために、その世帯の経済状況が比較的安定していることである。本調査でも手帳を取得していない世帯の8割が年収600万円以上であり、そのうちの37.5%が年収1000万円以上と回答している。対象者本人及び保護者全体からの自由回答を見てみると、「年金をもらえる道を作ってほしい」「手帳を取得して年金を受けたい」と回答した人数を合すると5名であり、収入源として「年金」と回答した人数は3名であった。したがって、残りの半数以上の12名は、現時点では、年金の受給を家計に考慮しないでも良い環境にあるといえるだろう。また、本人の年齢が若いことで、本人及び保護者に、治療が優先するという認識があるように思われた。

もう1つの目的であった高次脳機能障害者および家族の抱える問題と必要としているサービスについては、自由回答を中心に、本人の心理的な面に関することから、将来に関することまで、実にさまざまな意見が寄せられた。将来の不安として、「介護者の高齢化」7名、「将来のことを考えると不安」3名、「社会に出たときに不安である」1名、「両親がいて、今後の介護費が心配」1名、「親亡き後、施設に入れるか。作業所があるか心配」2名、といった回答が寄せられている。特徴的なことは、このような回答のほとんどが介護者からのものであることである。これは、日常生活活動に関する質問に対する、本人と介護者と回答に認識のギャップが出たという結果に対応させることができる。これから、本人と周囲の人との認識の差が日常生活にさまざまな影響を与えることが予測できる。高次脳機能障害者自身の障害理解、受容における、きめ細かな援助と、その介護者を援助、ケアする福祉サービスの拡充が重要であろう。自由回答の中で「障害者が利用できる施設がない」という意見が本人及び介助者7名から寄せられた。この7名のうち、6名は手帳を所持していない本人あるいは介助者で、手帳を所持している本人及び介助者からのこのような意見は、介助者1名からのみであった。この結果は、手帳の所持が福祉サービスの利用状況に大きく反映していると考えることができ、今後の障害認定及び身体障害者手帳のあり方を検討する上で示唆的である。高次脳機能障害者の障害認定と福祉サービスを検討する際の重要な点の一つは、本人及び介護者の年齢、生活環境、意識の変化に沿った、多様性と継続性であろう。

4. 資料

生活実態調査票

問1. 今、質問に答えてくださっているのはどなたですか。ご本人から見た続柄に○印をつけて下さい。

1. 本人 2. 配偶者 3. 親 4. 子ども 5. 兄弟姉妹 6. その他
()

問2. ご本人の性別、生年月日は。

<性別> 1. 男 2. 女 <生年月日> 年 月 日
() 歳

問3. プロフィール *了解をとって、調査の後カルテなどで確認する。

SQ1 現在の障害の原因となった病名

発症年月(年 月)

病名()

分類

1. 脳血管障害 : 脳内出血、脳梗塞、クモ膜下出血、もやもや病、
2. 頭部外傷 : 硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳挫傷、脳内出血、び慢性軸索損傷
3. 感染症 : 脳炎、エイズ脳症
4. 自己免疫疾患 : 全身性エリテマトーデス、神経ベーチェット病
5. 中毒疾患 : アルコール中毒、一酸化炭素中毒、薬物中毒
6. その他 : 多発性硬化症、正常圧水頭症、ビタミン欠乏症、脳腫瘍

SQ2. 現在の障害の診断名

- | | | | |
|-------------|-----------|------------|--------------|
| 1. 上・下肢マヒ | 2. 体幹機能障害 | 3. 半側空間無視 | 4. 半側身体失認 |
| 5. 地誌的障害 | 6. 失認症 | 7. 失語症 | 8. 記憶障害 |
| 9. 失行症 | 10. 注意障害 | 11. 遂行機能障害 | 12. 行動と情緒の障害 |
| 13. 視覚障害 | 14. 聴覚障害 | 15. 発語障害 | 16. 平衡感覚障害 |
| 17. 知能障害 | 18. 人格変化 | 19. 情緒不安定 | |
| 20. その他 () | | | |

SQ3. 障害者手帳の有無/等級/障害名

1. 身体障害者手帳()級)障害名 ()
2. 療育手帳障害名 () ()
3. 精神保健福祉手帳()級)障害名 ()

問 4. 現在の居所はどこですか。当てはまるところに○印をつけてください。

1. 入院 (1. 一般病院 2. 療養型病院 3. 精神病院
4. リハビリテーション病院 5. その他)
2. 施設 (1. 更生施設 2. グループホーム 3. その他 ()
3. 自宅 1. 持ち家 (イ. 自分名義 ロ. 子供名義 ハ. 親の名義)
2. 借家 (イ. 一戸建て ロ. 賃貸マンション ハ. アパート ニ. 公営住宅 ホ. 間借り)
3. 寮, 社宅, 官舎
4. その他 ()

S Q 住宅改造はされていますか。されている場合は、どのような改造ですか。

改造内容

()

問 5. 現在の健康状態についてうかがいます。

S Q1. 現在、病院などに通院していますか。

1. している 2. していない

S Q2. している場合、主な病名をかいてください。

() () ()

S Q3. 発症から現在までの間に入院・入所されましたか。病院名や施設名期間を順にあげてください。

病院・施設名・科	所在地	期間

問 6. リハビリテーションを受けたことがありますか。

1. ない 2. ある

S Q1. 受けたことがある場合、その期間はどのくらいですか。

(年 ヶ月)

S Q2. 受けている場合、その内容はどのようなものですか。当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

1. 理学療法 2. 作業療法 3. 言語療法 4. 認知訓練

5. その他 ()

S Q3. それはどのような場所で受けていますか。

1. 病院入院 2. 病院通院 a 施設入所
4. 施設通所(デイサービス) 5. その他 ()

問 7. 服薬の状況についてうかがいます。

S Q1. 現在、お薬を飲んでいますか。

1. 飲んでいる 2. 飲まない

S Q2. 処方されているのに薬を飲んでいない場合その理由はなんですか。

当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

1. 副作用がこわいから 2. めんどくさいから 3. 飲み込みにくいから
4. 食事の回数が処方とあわないから 5. 本人がいやがるから
6. 忘れる 7. その他 ()

問 8. ご本人の日常生活の様子についておたずねします。

S Q1. 次のようなことが自分一人ですみますか。当てはまる欄に○印をつけてください。

また本人ができない場合、介護担当者の続柄を書いてください(ヘルパーを含む)。

	1人でできる		1人ではできない		介護担当者 (複数可)
	普通 にで きる	時間 を か け ら ば 一 人 で 可 能	一部 介 助 や 見 守 り が 必 要	全部 介 助 が 必 要	
1. 食事をする			指 示 が 必 要	見 守 り が 必 要	
2. トイレを使う					
3. 衣服の着脱					
4. 身だしなみ					
5. 入浴する					
6. 家の中を移動する					
7. 外出する					
8. 電話の応答					
9. 買い物					
10. 食事の支援					
11. 掃除					
12. 洗濯					
13. 冷暖房の操作					
14. 銀行・市役所などの 用事					

15. 近所付き合い						
16. 本人の医薬品の服用						
17. 金銭の管理						
18. 家の中の整理整頓						

問 9. 外出の様子についてうかがいます。

S Q 1 外出はどのような頻度でしていますか。

- | | | | |
|-----------|------------|--------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週 2~3 回 | 3. 週 1 回 | 4. 月 2 回 |
| 5. 月 1 回 | 6. 年 1~2 回 | 7. ほとんど出掛けない | |

S Q 2. 外出は主にどのような方法でしていますか。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 自家用車を運転する | 2. 一人で電車・バスを利用する |
| 3. 一人でタクシーを利用する | 4. 介助してもらって電車・バスに乗る |
| 5. 介助してもらって自家用車かタクシーに乗る | |
| 6. リフトタクシーに乗る | 7. その他 () |

S Q 3. 主な外出先はどのようなところですか。

当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

- | | | | |
|------------|-----------|--------------------|--------|
| 1. 病院 | 2. 勤務先 | 3. 学校 | 4. 授産所 |
| 5. 通所作業所 | 6. デイセンター | 7. デパート・ショッピングセンター | |
| 8. コンビニ | 9. 趣味の集まり | 10. 美術館・博物館・映画館 | |
| 11. 障害者の集い | 12. 選挙 | 13. その他 () | |

S Q 4. 一人で目的地まで行くことができますか。

1. できない
2. 慣れたところなら行くことができ、帰ってくることもできる
3. 慣れたところなら行くことができるが、帰ってくることはできない
4. 不慣れなところでも行くことができ、帰ってくることもできる
5. 不慣れなところへ行くことはできるが、帰ってくることはできない

問 10. 一緒に住んでいるご家族についてお書きください。

・続柄はご本人から見た続柄を記入してください。

・障害は身体障害者手帳の有無にかかわらず、何らかの障害があれば「有」としてください。

続柄	性別		年齢	就労の有無		健康状態			障害の有無		介助担当者
	1. 男	2. 女		1. 有	2. 無	1. 健康	2. 通院	3. 他	1. 有	2. 無	
1. 本	1. 男	2. 女		1. 有	2. 無	1. 健康	2. 通院	3. 他	1. 有	2. 無	

人	女			入院	無	
2.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	
3.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	
4.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	
5.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	
6.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	
7.	1. 男 2. 女		1. 有 2. 無	1. 健康 入院 2. 通院 3.	1. 有 2. 無	

問 11. 別居の親族

続柄	所要時間と手段	会う回数
		月 回または年 回
		月 回または年 回
		月 回または年 回
		月 回または年 回
		月 回または年 回

問 12. ご本人の現在の職業等はどのようなものですか（休職中を含む。）

1. 会社員（管理職 事務職 労務職）
2. 公務員（管理職 事務職 労務職）
3. 自営業主 4. 家業手伝い 5. 内職
6. 無職 7. 主婦 8. 学生
9. その他（ ）

S Q 1. 受傷・発症時の職業等は何でしたか。上記の内の番号を選んでお答えください。
（ ）

問 13. ご本人は年金を受けていますか。当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

1. 障害基礎年金 2. 老齢基礎年金 3. 福祉年金
4. 障害厚生年金 5. 老齢厚生年金 6. 遺族厚生年金
7. 障害共済年金 8. 老齢共済年金
9. 遺族共済年金 10. 労災 11. 何も受けていない
12. その他（ ）

問 14. ご本人の年間の税込み収入はどのくらいになりますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 49万円以下 | 2. 50万円～99万円 |
| 3. 100万円～149万円以下 | 4. 150万円～199万円 |
| 5. 200万円～249万円 | 6. 250万円～299万円 |
| 7. 300万円～499万円 | 8. 500万円以上 |

S Q 1. それはどのような収入ですか。当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

- | | | |
|-------|-------------------|--------|
| 1. 年金 | 2. 就労所得（休業補償を含む。） | 3. 仕送り |
| 4. 恩給 | 5. その他（ | ） |

問 15. ご本人の世帯の税込み収入はどのくらいになりますか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 99万円以下 | 2. 100万円～149万円 |
| 3. 150万円～199万円 | 4. 200万円～299万円 |
| 5. 300万円～399万円 | 6. 400万円～499万円 |
| 7. 500万円～599万円 | 8. 600万円～999万円 |
| 9. 1000万円以上 | |

問 16. ご本人は普段どのようなことをして過ごしていますか。当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------------|------------|------------|
| 1. 散歩 | 2. 買い物 | 3. 仕事 | 4. 訪問客との会話 |
| 5. テレビ | 6. ラジオ | 7. 通院 | 8. 子守 |
| 9. 昼寝 | 10. スポーツ | 11. 家族との会話 | 12. 社会活動 |
| 13. 読書 | 14. 趣味（ | ） | |
| 15. 電話 | 16. 何もしていない | 17. わからない | |
| 18. その他（ | ） | | |

問 17. ご本人とご家族が心を打ち明けて相談する人はどなたですか。

- | | | | |
|-----------------------|----------|---------------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 親 | 3. 子供 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 親戚 | 6. 友人・知人 | | |
| 7. 家政婦、ホームヘルパー、ボランティア | | | |
| 8. その他（ | ） | 9. そのような人はいない | |

問 18. 相談機関を利用されたことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

S Q 1. ある場合、それはどのようなところですか。当てはまるすべてのものに○印をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-------|--------|-----------|
| 1. 病院の相談室 | 2. 役所 | 3. 保健所 | 4. 身障センター |
| 5. その他（ | ） | | |

問 19. 利用している福祉等のサービスはどのようなものですか。

1. ホームヘルプ
2. デイケア・デイサービス
3. ショートステイ
4. 訪問看護
5. 往診
6. 訪問リハ
7. 授産所
8. 福祉作業所・共同作業所
9. 住宅改造等の助成
10. その他 ()
11. 何も利用していない

問 20. 自分の障害は、次のどの障害の何級くらいに該当すると思いますか。その理由はどうしてですか。

1. 身体障害者手帳 () 級) 理由
()
2. 療育(知的障害)手帳障害名 () 級) 理由
()
3. 精神保健福祉手帳 () 級) 理由
()
4. その他 () 級) 理由
()

問 21. 現在、ご本人及び家族が日常生活上困っていることがありますか。自由に記述してください。また、それを解決するために望むことがあれば記入してください。

1. 障害の状態像

- 例) ・ 環境が変わると本人が混乱するので、家族の負担が大きくなる。
- ・ 物忘れのために生活に支障をきたす。
 - ・ 複雑な会話が理解しにくくなった。
 - ・ 計算ができなくなった。
 - ・ 感動できなくなった。

2. 介護者の負担

- 例) ・ 介護者が健康を損ねた時のことを考えると不安。
- ・ 妻の付添いが必要なので、忘年会や新年会に行けなくなった。
 - ・ 介護者がいないと一人では何もできないので、いつも見守りが必要。
 - ・ 本人の代わりに考えて指示しなくてはならない。
 - ・ 介護者の高齢化